

試験依頼番号：21D-BT-319-1

試験検査報告書

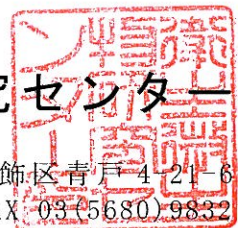
試験依頼者： 株式会社リバースジャパン
検 体： 本報告書中に記載
試験項目： 消臭試験
試験責任者： 李 憲俊

平成22年1月19日当センターに提供された検体について行った試験結果は次のとおりです。

平成22年1月26日

衛生微生物研究センター

〒125-0062 東京都葛飾区青戸4-21-6
TEL 03(5680)9831 FAX 03(5680)9832



本報告書を他への転載につきましては当センターに事前にご連絡ください。

消 臭 試 験

1. 目 的

検体の消臭効果を調べる。

2. 検体

リバーズノリ塗布済みビニールクロス 1点

3. 対象臭気

アンモニア

4. 試験方法

北川式検知管法を用いた。

対象臭気濃度を設定した三角フラスコ（1L）に、検体を入れ、35℃、30分
および60分後に北川式検知管を用いて残留濃度を測定した。
また、臭気のみをコントロールとして同様に試験を行った。

消臭率は以下の計算式で算出した。

$$\text{消臭率 (\%)} = \frac{\text{対照の残留濃度} - \text{試験試料の残留濃度}}{\text{対照の残留濃度}} \times 100$$

5. 試験結果

北川式検知管法を用いて行った検体の消臭試験結果を表1に示した。

表1. アンモニアに対する消臭試験成績

試験試料	初発濃度	残留濃度(消臭率%)	
		30分後	60分後
リバースノリ塗布済みビニールクロス	170ppm	40ppm(76.5%)	15ppm(90.0%)
コントロール	170ppm	170ppm	150ppm

以上

試験依頼番号：21D-BT-319-3

試験検査報告書

試験依頼者： 株式会社リバースジャパン
検 体： 本報告書中に記載
試験項目： 消臭試験
試験責任者： 李 憲俊

平成22年1月19日当センターに提供された検体について行った試験結果は次のとおりです。

平成22年1月26日

衛生微生物研究センター

〒125-0062 東京都葛飾区青戸4-21-6
TEL 03(5680)9831 FAX 03(5680)9832



本報告書を他への転載につきましては当センターに事前にご連絡ください。

消 臭 試 験

1. 目 的

検体の消臭効果を調べる。

2. 検体

リバースノリ塗布済みビニールクロス 1点

3. 対象臭気

酢酸

4. 試験方法

北川式検知管法を用いた。

対象臭気濃度を設定した三角フラスコ（1L）に、検体を入れ、35℃、30分および60分後に北川式検知管を用いて残留濃度を測定した。
また、臭気のみをコントロールとして同様に試験を行った。

消臭率は以下の計算式で算出した。

$$\text{消臭率 (\%)} = \frac{\text{対照の残留濃度} - \text{試験試料の残留濃度}}{\text{対照の残留濃度}} \times 100$$

5. 試験結果

北川式検知管法を用いて行った検体の消臭試験結果を表1に示した。

表1. 酢酸に対する消臭試験成績

試験試料	初発濃度	残留濃度(消臭率%)	
		30分後	60分後
リバースノリ塗布済みビニールクロス	35ppm	5ppm(85.7%)	5ppm(85.7%)
コントロール	35ppm	35ppm	35ppm

以上